

令和5年度 第2回 学校運営協議会 記録

○期 日：令和5年8月29日（火）

○時 間：9時45分～10時20分 授業参観

10時30分～11時45分 会議

○場 所：会議室

○出席者：学校運営協議会委員6名 A委員（教育関係者）
B委員（社会福祉関係者）
C委員（地域関係者）
D委員（町内会関係者）
E委員（生徒保護者）
F委員（地域関係者）

学校関係者6名 校長、副校長2名、事務長、総括教務主任、進路指導主事

欠席者：学校運営協議会委員1名 G委員（地域企業関係者）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 校長挨拶
- 3 出席者自己紹介
- 4 議題
 - (1) 地域との協働による教育活動について
 - (2) 高等部進路指導推進状況について
 - (3) その他
- 5 提 言（意見・要望・感想等）
- 6 連 絡
 - ・今年度、今後の日程について
 - 第3回 1月18日（木）9：45～
 - 第4回 3月に書面にて（次年度の学校経営計画骨子案の提案）
- 7 閉 会

1 開会（事務長）

2 校長挨拶

委員の皆様には、日頃から本校を支えていただき、感謝している。連日の猛暑・酷暑の中はあるが、児童生徒の健康安全と職員の働き方等にも配慮しながら、学校運営を進めているところである。

今回は今年度2回目の運営協議会となる。学校運営に地域の皆様の声を反映させることで、地域と一体となった学校づくりを進めていきたいと考えている。たくさんのご意見等いただければありがたい。

3 出席者自己紹介

～高等部授業見学～

4 議題

(1) 地域との協働による教育活動について・・・別紙資料の内容をスライドで紹介

【質問・意見】

D委員：堀切交流や花壇整備など町内会としては学校の取り組みに今後もぜひ協力していきたいと考えている。ただ、地域の参加者が減ってきている状態である。交流会などでは企画や準備等すべて学校側で進めてもらっていることも考えると、地域住民の参加者がもう少し増えるとよい。

F委員：久慈まつりに関しても、田屋町組と拓陽と一緒に盛り上げていると実感している。まつりについても学校でよく勉強している。我々も出前授業に來たりしているが、拓陽の子はまつりをよく理解してくれていると感じる。拓陽でも花神輿を作ったりすることもできるのではないかな。これからも一緒に取り組んでいきたいと考えている。

(2) 高等部進路指導推進状況について・・・資料のとおり

【質問・意見】

C委員：就職した卒業生が、様々な理由で離職してしまうこともあるとのことだが、離職後について学校としては何か対応していることはあるのか？

進路：本校では卒業後も3年程度はアフターケアとして、卒業生の状況把握やフォローに携わっている。離職者についても、離職に至った今回の課題や現状、今後の生活についてどうしていきたいかなどを聞き取りながら一緒に考え、整理している。その上で、再就職に向けたフォローをしたり、他の支援機関等につなげたりして対応している。一方で、アフターフォローに入る職員も転勤等で変わったりするため、卒業後の地域でのつながり（支援機関など）が重要だと感じる。

B委員：社会福祉協議会でも就労支援や職場定着についての取り組みをしている。就職に向けた情報提供等協力していきたい。

E委員：以前より卒業生の進路先が広がってきていると感じる。八戸など広域への進路もあるのか？そのときのアフター対応はどうするのか？

進路：令和2年度の卒業生で八戸の介護施設に就職したケースがある。今は道路も整備されているので、八戸へもアフターケアのため訪問している。今後も希望があれば八戸の方へも進路開拓したり、実習等対応したりしていく。

副校長：種市など八戸に近い地域に居住している人などは、進路先として八戸も検討することも多いため、本校としては八戸も生徒の生活圏域として進路開拓は進めている。ただし、職場への通い方が課題となる。実習等を通して、通い方のイメージも見通しながら進路決定していくことになる。

E委員：(進路の) 選択肢が増えていくのはいいことだと思う。

(3) その他

・堀切町内みこし運行について

副校長：昨年度の運営協議会で好評をいただき、今年度も田屋町組を始め、地域の協力を得ながら実施する方向で計画していることをこの場で報告させていただく。

・学校の教員不足について

校長：現在全国的にも県内でも教員不足の状態である。本校も定数に足りてない現状である。地域の中で、教員免許（できれば特別支援の免許があるとなお良いが…）を持ち、現在職業的にフリーな方がいればぜひ紹介してほしい。

5 提言

A委員：学校見学をさせてもらい、テスト一つするにも先生方は大変苦勞されていると思う。社会とのつながりを作っていく上で、体験活動の充実が大事なのだと改めて感じた。侍浜中と拓陽との交流会を年に2回実施する意味が分かった気がする。1回目に顔合わせをして互いを知り、2回目には見知った者同士「久しぶり！会いたかったよ！」というような雰囲気交流会を楽しむことができるのだと思った。これからもぜひ継続して交流を深めたい。

B委員：学校では卒業後の見通しを持った取り組みができていると感じた。社会福祉協議会も地域の役割として枠組は整っているが、現場感が不足していると感じる。今後もっと学校とも協力していきながら、地域の役割を果たしていきたい。

C委員：テスト中の様子を見学させてもらったが、子どもたちはイメージしていたよりも落ち着いていると感じた。前回の校内見学と違う場面も見られて良かった。今年度も侍浜町内の交差点の三角花壇や市民センター前の花壇整備をしてもらい、ありがたく思う。

1回目の運営協議会で話題に出た侍浜の夏まつりは、台風の影響で結局今年度も中止となってしまったことを報告しておく。

例年11月に予定している文化祭について、今年度は4年ぶりに開催するかどうか未定ではあるが、もし開催するとなれば11月第2週の土日あたりになると思う。そのときは何らかの形で拓陽とも関わると良いと思う。

D委員：拓陽の子はかわいい。そして、拓陽の先生方がとても一生懸命に取り組んでいる様子を見て、何とか地域としても手伝いたいと思う。参加者は減っているが、今後も交流会などは是非とも協力していきたい。参加者も何とか増やしていきたい。

E委員：拓陽の製品はたくさん購入しているが、質が良く良品が多い。職場などで重宝して

いる。

地域交流やまつりなど、地域だけだとなかなか集まりづらいこともあるが、拓陽が交じることで地域の活性化にもなっている。そういった意味では、地域貢献にもなっているのかと思う。これからも続けていってほしい。

F 委員：拓陽の取り組みには、いろいろなつながりがあることを感じた。まつりでの交流を今後も継続して、拓陽と一緒に地域と久慈を盛り上げたい。

6 連絡

(副校長)

- ・次回、第3回開催は令和6年1月18日(木)。
学校評価を元に次年度に向けての取り組みを協議したい。
- ・第4回 3月に書面にて(次年度の学校経営計画骨子案の提案)。

<最後に>

校 長：今回皆さんからいただいた意見を今後の教育活動の参考として生かしていきたい。

昨年度の運営協議会でいただいた意見を元に、今年度も田屋町組などの協力を得ながら堀切町内のみこし運行を計画することができた。これも運営協議会を設置した一つの成果として報告させていただく。

7 閉会(事務長)